

令和8年7月29日

演劇「12人の生まない日本人」アフタートークに綾部市長が参加＝8月31日

笑いの内閣による演劇「12人の生まない日本人」が8月27日から31日まで、京都市南区の THEATRE E9 KYOTO で上演される。

四方源太郎・綾部市長が8月31日、上演後に行われるアフタートークに参加する。

「12人の生まない日本人」は、地方の小学校の統廃合問題をもとに、地方の少子化について論じる、コメディタッチの劇。笑いの内閣を主宰する高間響さんと四方市長の1対1で、演劇の感想や少子化が進む地域の課題についてトークを展開する。

記

《綾部市長参加日》

1 日時 8月31日（月）

演劇上演 午後2時～3時45分

トーク 午後3時50分頃～4時30分

2 場所 THEATRE E9 KYOTO（京都市南区東九条南河原町9-1）

3 その他 チケット必要。CoRich チケット！で取り扱い。

【京都公演】<https://ticket.corich.jp/apply/465758/>

《あらすじ》

少子化が顕著な田舎町で小中一貫校の建設を計画。

その賛否を問うために選ばれた12人が密室会議を開催。

一人の男性が「行政が子育て支援をすることは倫理に反する。子どもを作ることには反道徳的」と「反出生主義」の発言。

なぜ日本は少子化なのか？反出生主義とは？を問いかける。

《笑いの内閣》

平成17年、代表・脚本家・演出を勤める高間響さんが中心となって旗揚げされた劇団。現在の代表は髭だるマンさん。京都市を中心に活動。

風刺時事ネタの芝居。時事ネタを分かりやすくコメディタッチで上演。

《反出生主義とは》

子どもを産むことは親のエゴであり、生まれない方が合理的であるとする思想。

生まれた苦痛への同意はなく、また「生まれてこない方が良かった」と嘆く者はいても、存在しない者が「なぜ産まなかったのか」と抗議することはないため、子どもは作るべきではないとの主張。

デイヴィット・ベネターの著書や創作物の影響で、生きづらさを抱える現代社会において、この思想が広まっている。

※笑いの内閣ホームページより

<問い合わせ>

笑いの内閣 制作連絡先 メール：waraino.naikaku.ticket@gmail.com

担当 秋津さん 電話090-8379-4072

秘書広報課 課長 野間知亜紀 電話0773（42）4204

